

平成20年度技術部旅費について。

平成20年度技術部旅費は下記の申し合わせ事項により、使用をお願いします。

管理(配分)についての申し合わせ事項。

①申請者を対象(予算総額:30万円)

発表申請者・技術講習会出席を受け付ける。

発表形式は口頭・ポスターを問わないが、申請者が多数の場合は若年層を優先する。

使用者は該当年度もしくは次年度の技術部研修で報告を行う。

該当者は次年度定額配分グループの最下位へ配置する。

②グループ分けをして定額を配分する(予算総額:50万円(予算上限:6万円))

グループ分けを行い、該当者には事前に通知を行い、年度内の出張計画を提出する。

予算上限内で複数回の使用は認めない。

次年度に計画が確定している場合はWGと協議する。

可能であれば、該当年度もしくは次年度の技術部研修で報告を行う。

出張計画の提出が無ければ不要とみなし、次年度最下位のグループに配置する。

※ グループ分けは別表に記載しています。

使用順位、1～8番の該当者は平成20年5月31日までに出張計画をご検討ください。

旅費の使途については明確な説明ができるものが求められています。具体的例としては、各種学会・研究会、技術講習会および技術部の管理・運営に関する情報収集などがあげられます。

今回の検討は申請方式と従来の定額配分に予算上限額を増やした方法を提案しています。これにより、必要な旅費が申請により獲得できることと、これまでより遠方への旅程が可能となっています。旅費の使用に際してはこれまでの旅費があるから使用するのではなく、これからは必要な旅費については申請を行い使用する方向に意識改革が必要です。

なお、今回の提案により、旅費の配分方法が固定されるものではなく、必要に応じ適宜見直していく必要があります。

技術部旅費順位表(五十音順)

順位	氏名	備考	順位	氏名	備考
1	赤峰(電気)		21	長野(電気)	
2	新井(環境)		22	西村(電気)	
3	岩見(環境)		23	信岡(環境)	
4	梅田(電気)		24	原山(情報)	
5	小野澤(電気)		25	平松(環境)	
6	甲斐(機械)		26	松原(情報)	
7	加来(電気)		27	矢田(情報)	
8	熊迫(環境)		28	奧林(総括)	H19済
9	児玉(情報)		29	北村(機械)	H19済
10	木庭(電気)		30	國分(環境)	H19済
11	佐藤(電気)		31	島崎(情報)	H19済
12	佐藤武(電気)		32	嶋田(機械)	H19済
13	首藤(機械)		33	高橋(電気)	H19済
14	菖蒲(環境)		34	中武(環境)	H19済
15	秦(情報)		35	西田(機械)	H19済
16	田嶋(環境)		36	原楨(情報)	H19済
17	田原(電気)		37	保月(機械)	H19済
18	遠矢(環境)		38	三浦(機械)	H19済
19	永利(電気)		39	御手洗(機械)	H19済
20	中西(電気)				